

# パンほおばり音楽楽しむ 帯広三条高発案の催し

帯広三条高の生徒の発案がきっかけで実現したイベント「麦音 de フェス」が 6 日、満寿屋商店麦音店（帯広市稲田町）で開かれた。家族連れなどが同店の庭でパンを食べながら、絵本を使ったライブやゲームなどを楽しんだ。

（大河原桜）



同校は昨年度、生徒が地域社会の課題を考える道教委の事業「北海道クラスプロジェクト」で研究推進校に指定されたことを受け、現代社会の授業で地域貢献のアイデアを出し合った。

その中から、学校側がパン製造販売の満寿屋商店（帯広）の商品を使った企画を選び、同プロジェクトで配属されている地域コーディネーターの長岡行子さんに実現できないか相談。同校などの協力を取り付け、一般社団法人とかち子育て支援センター（帯広）の主催でフェスを開催した。

発案した倉口遥那さん（18）は「こんなに大きなイベントになってびっくり」。さらなる催しも計画中といい、もう一人の発案者の小谷愛実さん（17）は「新型コロナウイルス禍でイベントがない中、楽しめるものができたら」と話した。

庭のステージでは絵本を使った  
◀ ライブなどが行われ、子供たちが楽しんだ（中川明紀撮影）